

ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型)

米ドルコース

日本円コース

通貨αコース

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／その他資産 | |
| 信託期間 | 約5年間 (2014年10月21日～2019年10月18日) | |
| 運用方針 | 信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | 米ドルコース | イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (ノンヘッジクラス)」 (以下「アメリカンMLPファンド (ノンヘッジクラス)」といいます。)の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券 |
| | 日本円コース | イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (円ヘッジクラス)」 (以下「アメリカンMLPファンド (円ヘッジクラス)」といいます。)の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券 |
| | 通貨αコース | イ. ケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド (通貨αクラス)」 (以下「アメリカンMLPファンド (通貨αクラス)」といいます。)の受益証券 (円建) ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券 |
| 組入制限 | 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 | |
| 分配方針 | 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 | |

運用報告書 (全体版)

第41期 (決算日 2018年5月21日)

第42期 (決算日 2018年6月20日)

第43期 (決算日 2018年7月20日)

第44期 (決算日 2018年8月20日)

第45期 (決算日 2018年9月20日)

第46期 (決算日 2018年10月22日)

(作成対象期間 2018年4月21日～2018年10月22日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、エネルギーや天然資源等に関連する米国のMLP (マスター・リミテッド・パートナーシップ) 等へ投資し、信託財産の成長をめざしております (通貨αコースでは、通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保もめざしております)。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5643>

<5644>

<5645>

米ドルコース

最近30期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | アレリアンMLP指数 (円換算) | | 公社債 組入比率 | 投資信託 受益証券 組入比率 | 純資産 総額 |
|-------------------|-------|------------|-----------|---------------------|-----------|-------------|----------------------|-----------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | 期中 騰落率 | (参考指数) | 期中 騰落率 | | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 17期末(2016年5月20日) | 6,462 | 30 | 6.7 | 6,977 | 6.6 | 0.1 | 99.2 | 10,229 |
| 18期末(2016年6月20日) | 6,185 | 30 | △ 3.8 | 6,778 | △ 2.8 | 0.0 | 99.0 | 9,265 |
| 19期末(2016年7月20日) | 6,514 | 30 | 5.8 | 7,186 | 6.0 | 0.0 | 99.0 | 9,368 |
| 20期末(2016年8月22日) | 6,169 | 30 | △ 4.8 | 6,808 | △ 5.3 | 0.0 | 99.0 | 8,688 |
| 21期末(2016年9月20日) | 6,038 | 30 | △ 1.6 | 6,640 | △ 2.5 | 0.0 | 98.6 | 8,167 |
| 22期末(2016年10月20日) | 6,340 | 30 | 5.5 | 7,011 | 5.6 | 0.0 | 99.0 | 8,374 |
| 23期末(2016年11月21日) | 6,670 | 30 | 5.7 | 7,325 | 4.5 | 0.0 | 98.9 | 8,481 |
| 24期末(2016年12月20日) | 7,081 | 30 | 6.6 | 7,827 | 6.8 | 0.0 | 99.0 | 8,662 |
| 25期末(2017年1月20日) | 7,250 | 30 | 2.8 | 8,028 | 2.6 | 0.0 | 98.8 | 8,973 |
| 26期末(2017年2月20日) | 7,393 | 30 | 2.4 | 8,369 | 4.2 | 0.0 | 98.8 | 9,060 |
| 27期末(2017年3月21日) | 7,050 | 30 | △ 4.2 | 7,931 | △ 5.2 | 0.0 | 99.1 | 8,412 |
| 28期末(2017年4月20日) | 6,809 | 30 | △ 3.0 | 7,711 | △ 2.8 | 0.1 | 98.8 | 7,989 |
| 29期末(2017年5月22日) | 6,864 | 30 | 1.2 | 7,796 | 1.1 | 0.0 | 98.9 | 7,868 |
| 30期末(2017年6月20日) | 6,268 | 30 | △ 8.2 | 7,224 | △ 7.3 | 0.0 | 98.9 | 6,818 |
| 31期末(2017年7月20日) | 6,630 | 30 | 6.3 | 7,672 | 6.2 | 0.0 | 99.2 | 6,945 |
| 32期末(2017年8月21日) | 5,869 | 30 | △ 11.0 | 6,785 | △ 11.6 | — | 98.8 | 5,989 |
| 33期末(2017年9月20日) | 6,219 | 30 | 6.5 | 7,239 | 6.7 | — | 98.8 | 6,121 |
| 34期末(2017年10月20日) | 6,135 | 30 | △ 0.9 | 7,141 | △ 1.4 | — | 98.6 | 5,817 |
| 35期末(2017年11月20日) | 5,904 | 30 | △ 3.3 | 6,850 | △ 4.1 | — | 98.6 | 5,470 |
| 36期末(2017年12月20日) | 6,163 | 30 | 4.9 | 7,215 | 5.3 | — | 99.2 | 5,392 |
| 37期末(2018年1月22日) | 6,415 | 30 | 4.6 | 7,697 | 6.7 | — | 99.5 | 5,445 |
| 38期末(2018年2月20日) | 5,769 | 30 | △ 9.6 | 6,902 | △ 10.3 | — | 99.5 | 4,693 |
| 39期末(2018年3月20日) | 5,269 | 30 | △ 8.1 | 6,199 | △ 10.2 | — | 99.5 | 4,143 |
| 40期末(2018年4月20日) | 5,560 | 30 | 6.1 | 6,616 | 6.7 | — | 99.5 | 4,222 |
| 41期末(2018年5月21日) | 6,050 | 30 | 9.4 | 7,256 | 9.7 | — | 99.5 | 4,543 |
| 42期末(2018年6月20日) | 5,951 | 30 | △ 1.1 | 7,106 | △ 2.1 | — | 99.5 | 4,279 |
| 43期末(2018年7月20日) | 6,334 | 30 | 6.9 | 7,533 | 6.0 | — | 99.5 | 4,163 |
| 44期末(2018年8月20日) | 6,463 | 30 | 2.5 | 7,905 | 4.9 | — | 99.4 | 4,167 |
| 45期末(2018年9月20日) | 6,252 | 30 | △ 2.8 | 7,773 | △ 1.7 | — | 99.4 | 3,976 |
| 46期末(2018年10月22日) | 6,096 | 30 | △ 2.0 | 7,586 | △ 2.4 | — | 99.1 | 3,733 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(円換算)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

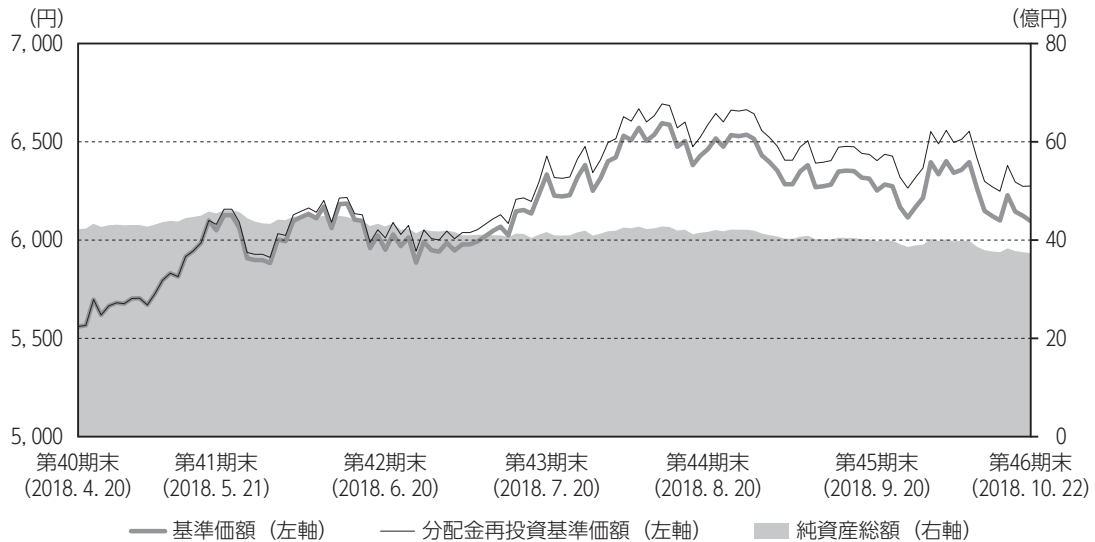
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第41期首：5,560円

第46期末：6,096円（既払分配金180円）

騰落率：12.9%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

MLP（※）のパイプラインの規制料金の決定を背景にMLPの価格が上昇したことや、米ドル円為替相場の上昇などがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行なわれている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

| | 年 月 日 | 基 準 価 額 | | アレリアンMLP指数 (円換算) | | 公 社 債 組入比率 | 投資信託 受益証券 組入比率 |
|------|-----------------|---------|-------|---------------------|-------|---------------|----------------------|
| | | 円 | 騰 落 率 | (参考指数) | 騰 落 率 | | |
| 第41期 | (期首)2018年4月20日 | 5,560 | — | 6,616 | — | — | 99.5 |
| | 4月末 | 5,681 | 2.2 | 6,754 | 2.1 | — | 99.3 |
| | (期末)2018年5月21日 | 6,080 | 9.4 | 7,256 | 9.7 | — | 99.5 |
| 第42期 | (期首)2018年5月21日 | 6,050 | — | 7,256 | — | — | 99.5 |
| | 5月末 | 6,003 | △ 0.8 | 7,088 | △ 2.3 | — | 99.5 |
| | (期末)2018年6月20日 | 5,981 | △ 1.1 | 7,106 | △ 2.1 | — | 99.5 |
| 第43期 | (期首)2018年6月20日 | 5,951 | — | 7,106 | — | — | 99.5 |
| | 6月末 | 5,941 | △ 0.2 | 7,044 | △ 0.9 | — | 99.1 |
| | (期末)2018年7月20日 | 6,364 | 6.9 | 7,533 | 6.0 | — | 99.5 |
| 第44期 | (期首)2018年7月20日 | 6,334 | — | 7,533 | — | — | 99.5 |
| | 7月末 | 6,315 | △ 0.3 | 7,547 | 0.2 | — | 99.3 |
| | (期末)2018年8月20日 | 6,493 | 2.5 | 7,905 | 4.9 | — | 99.4 |
| 第45期 | (期首)2018年8月20日 | 6,463 | — | 7,905 | — | — | 99.4 |
| | 8月末 | 6,354 | △ 1.7 | 7,758 | △ 1.9 | — | 99.5 |
| | (期末)2018年9月20日 | 6,282 | △ 2.8 | 7,773 | △ 1.7 | — | 99.4 |
| 第46期 | (期首)2018年9月20日 | 6,252 | — | 7,773 | — | — | 99.4 |
| | 9月末 | 6,168 | △ 1.3 | 7,708 | △ 0.8 | — | 99.2 |
| | (期末)2018年10月22日 | 6,126 | △ 2.0 | 7,586 | △ 2.4 | — | 99.1 |

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018. 4. 21 ～ 2018. 10. 22）

■MLP市況

MLP市場は、州間パイプラインにおける規制料金の詳細が決定したことを背景に、上昇しました。

MLP市場は、当作成期首から2018年5月にかけて、好調な米国株式市場やエネルギー株式への関心の高まりから、堅調に推移しました。6月に一時調整が入ったものの、FERC（米国連邦エネルギー規制委員会）による州間パイプラインにおける規制料金についての決定が当初の想定よりMLPへの影響が軽微であったことや、MLP個別銘柄の決算内容が良好であったことなどを背景として市場心理が改善し、7月中旬以降は大きく上昇しました。しかし10月に入ってから、米国株式市場の下落の影響をMLP市場も受けたほか、11月に行なわれるコロラド州のエネルギー産業に関する規制についての住民投票の行方が懸念され、同州に資産を保有するMLPの価格変動が大きくなりました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル為替相場は、当作成期首から、米中貿易摩擦動向に左右されつつも、米国株式市場が堅調に推移したことや米国の継続的な利上げを受けて、米ドルは対円で上昇傾向で推移しました。しかし2018年10月に入ると、市場のリスク回避姿勢が強まる中で米ドルは対円で下落傾向となり、米ドルの上昇幅がやや縮小する形で当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」（以下、「アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）」といいます。）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面

は、最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発、原油や天然ガスを低コストで生産できる優良地域における施設開発、スポンサー（親会社）の成長計画に連動した原油・精製品パイプラインの開発や資産取得の投資機会を有する川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、資本構成の簡素化を図っている銘柄にも注目します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2018. 4. 21 ~ 2018. 10. 22)

■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、エネルギー商品価格変動の影響を比較的受けにくいパイプラインや貯蔵施設などの川中MLPを中心に構成しました。川中MLPにおいては、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積・処理、輸送、貯蔵）に幅広く分散投資を行ないました。

前作成期同様に、IDR（インセンティブ配当権）を廃止した銘柄や、資産売却による配当性向の改善が見込める銘柄、ファンダメンタルズの見通しが明るい銘柄を中心に購入しました。一方で、今後の成長戦略に課題のある銘柄を中心に売却しました。

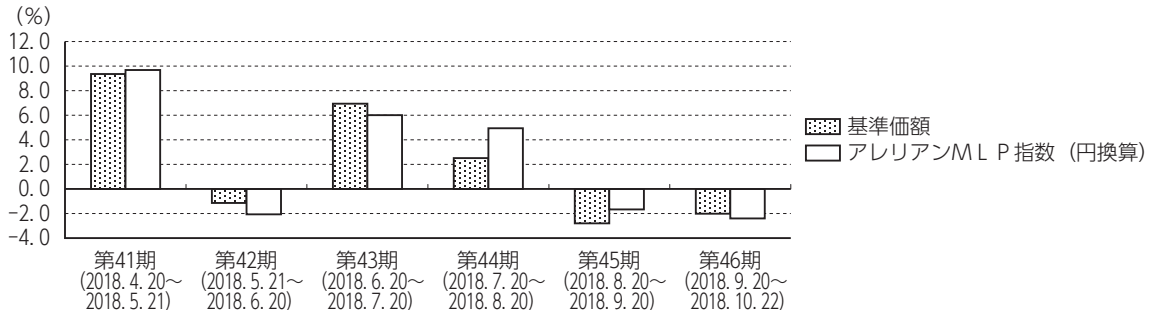
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「パイプライン、貯蔵、処理」、「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低く、「集積、処理」の組入比率が高いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

| 項 目 | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
|-----------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| | 2018年4月21日 ～2018年5月21日 | 2018年5月22日 ～2018年6月20日 | 2018年6月21日 ～2018年7月20日 | 2018年7月21日 ～2018年8月20日 | 2018年8月21日 ～2018年9月20日 | 2018年9月21日 ～2018年10月22日 |
| 当期分配金(税込み) (円) | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 |
| 対基準価額比率 (%) | 0.49 | 0.50 | 0.47 | 0.46 | 0.48 | 0.49 |
| 当期の収益 (円) | 30 | 25 | 30 | 30 | 24 | 24 |
| 当期の収益以外 (円) | — | 4 | — | — | 5 | 5 |
| 翌期繰越分配対象額 (円) | 773 | 769 | 770 | 770 | 765 | 759 |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

| 項目 | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | ✓ 31.28円 | ✓ 25.27円 | ✓ 31.33円 | ✓ 30.31円 | ✓ 24.65円 | ✓ 24.54円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| (c) 収益調整金 | 191.08 | 194.22 | 195.30 | 196.25 | 201.82 | 202.75 |
| (d) 分配準備積立金 | 581.43 | ✓ 579.58 | 573.77 | 574.15 | ✓ 568.89 | ✓ 562.62 |
| (e) 当期分配対象額 (a+b+c+d) | 803.80 | 799.07 | 800.41 | 800.72 | 795.37 | 789.91 |
| (f) 分配金 | 30.00 | 30.00 | 30.00 | 30.00 | 30.00 | 30.00 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e-f) | 773.80 | 769.07 | 770.41 | 770.72 | 765.37 | 759.91 |

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（ノンヘッジクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発機会や、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発機会、激しい競争の影響が少なく成長が見込まれる川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー（親会社）、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、株価にプラスの影響があると期待されることから、資本構造の簡素化を図っているMLPにも注目しています。資本構造の簡素化を図るMLPの中には、MLPから株式会社の形態に変更するものもあり、エネルギー川中事業セクターにおける株式会社の数は増加傾向にあります。ファンドにおいては、このような株式会社にも投資してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

| 項 目 | 第41期～第46期 (2018. 4. 21～2018. 10. 22) | | 項 目 の 概 要 |
|---------------|---|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| 信 託 報 酬 | 39円 | 0.642% | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,152円です。 |
| (投 信 会 社) | (13) | (0.219) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (25) | (0.410) | 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 銀 行) | (1) | (0.013) | 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 売 買 委 託 手 数 料 | — | — | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| 有 価 証 券 取 引 税 | — | — | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| そ の 他 費 用 | 0 | 0.004 | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合 計 | 40 | 0.646 | |

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 米ドルコース

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2018年4月21日から2018年10月22日まで)

| 決算期 | 第 41 期 ~ 第 46 期 | | | |
|-------------|-----------------|---------|--------------|-----------|
| | 買 付 | | 売 付 | |
| | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 金 額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| 外国 (邦貨建) | 2,318.34972 | 129,392 | 19,007.22808 | 1,058,000 |

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2018年4月21日から2018年10月22日まで)

| 第 41 期 ~ | | | | 第 46 期 | | | |
|----------|-----|-----|------|---|--------------|-----------|------|
| 買 付 | | | 売 付 | | | | |
| 銘 柄 | □ 数 | 金 額 | 平均単価 | 銘 柄 | □ 数 | 金 額 | 平均単価 |
| | 千口 | 千円 | 円 | | 千口 | 千円 | 円 |
| | | | | AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島) | 19,007.22808 | 1,058,000 | 55 |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

| ファンド名 | 第 46 期 末 | | |
|---|--------------|-----------|------|
| | □ 数 | 評価額 | 比 率 |
| | 千口 | 千円 | % |
| 外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND NON HEDGED CLASS | 66,367.13456 | 3,698,773 | 99.1 |

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

| 種 類 | 第40期末 | 第 46 期 末 | |
|-----------------|-------|----------|-------|
| | □ 数 | □ 数 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| ダイワ・マネー・マザーファンド | 285 | 285 | 290 |

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年10月22日現在

| 項 目 | 第 46 期 末 | |
|-----------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 投資信託受益証券 | 3,698,773 | 98.0 |
| ダイワ・マネー・マザーファンド | 290 | 0.0 |
| コール・ローン等、その他 | 73,715 | 2.0 |
| 投資信託財産総額 | 3,772,779 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年5月21日)、(2018年6月20日)、(2018年7月20日)、(2018年8月20日)、(2018年9月20日)、(2018年10月22日)現在

| 項 目 | 第41期末 | 第42期末 | 第43期末 | 第44期末 | 第45期末 | 第46期末 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| (A) 資産 | 4,589,454,172円 | 4,317,159,552円 | 4,286,014,367円 | 4,212,684,224円 | 4,002,191,644円 | 3,802,779,188円 |
| コール・ローン等 | 59,093,123 | 59,426,746 | 110,764,863 | 57,264,957 | 43,133,803 | 43,715,829 |
| 投資信託受益証券（評価額） | 4,520,070,748 | 4,257,442,504 | 4,140,959,231 | 4,143,129,023 | 3,952,767,625 | 3,698,773,143 |
| ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額） | 290,302 | 290,302 | 290,273 | 290,245 | 290,216 | 290,216 |
| 未収入金 | 9,999,999 | — | 34,000,000 | 11,999,999 | 6,000,000 | 60,000,000 |
| (B) 負債 | 45,845,354 | 37,844,415 | 122,308,198 | 44,749,079 | 25,448,409 | 69,687,092 |
| 未払金 | 5,000,000 | — | 17,000,000 | 6,000,000 | 1,000,000 | 30,000,000 |
| 未払収益分配金 | 22,530,612 | 21,573,837 | 19,719,804 | 19,347,493 | 19,082,846 | 18,370,910 |
| 未払解約金 | 13,596,020 | 11,574,685 | 81,168,844 | 14,768,663 | 811,619 | 16,803,461 |
| 未払信託報酬 | 4,688,609 | 4,635,953 | 4,332,034 | 4,516,902 | 4,409,834 | 4,340,856 |
| その他未払費用 | 30,113 | 59,940 | 87,516 | 116,021 | 144,110 | 171,865 |
| (C) 純資産総額（A－B） | 4,543,608,818 | 4,279,315,137 | 4,163,706,169 | 4,167,935,145 | 3,976,743,235 | 3,733,092,096 |
| 元本 | 7,510,204,265 | 7,191,279,139 | 6,573,268,281 | 6,449,164,405 | 6,360,948,863 | 6,123,636,936 |
| 次期繰越損益金 | △ 2,966,595,447 | △ 2,911,964,002 | △ 2,409,562,112 | △ 2,281,229,260 | △ 2,384,205,628 | △ 2,390,544,840 |
| (D) 受益権総口数 | 7,510,204,265口 | 7,191,279,139口 | 6,573,268,281口 | 6,449,164,405口 | 6,360,948,863口 | 6,123,636,936口 |
| 1万口当り基準価額（C/D） | 6,050円 | 5,951円 | 6,334円 | 6,463円 | 6,252円 | 6,096円 |

*第40期末における元本額は7,593,187,141円、当作成期間（第41期～第46期）中における追加設定元本額は165,679,759円、同解約元本額は1,635,229,964円です。

*第46期末の計算口数当りの純資産額は6,096円です。

*第46期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,390,544,840円です。

■損益の状況

第41期 自2018年4月21日 至2018年5月21日 第43期 自2018年6月21日 至2018年7月20日 第45期 自2018年8月21日 至2018年9月20日
 第42期 自2018年5月22日 至2018年6月20日 第44期 自2018年7月21日 至2018年8月20日 第46期 自2018年9月21日 至2018年10月22日

| 項 目 | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
|-------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| (A) 配当等収益 | 23,783,129円 | 22,839,522円 | 20,927,509円 | 20,417,854円 | 20,118,424円 | 19,398,547円 |
| 受取配当金 | 23,784,966 | 22,841,387 | 20,929,195 | 20,419,969 | 20,120,292 | 19,400,450 |
| 受取利息 | 6 | 13 | 18 | 10 | 11 | 8 |
| 支払利息 | △ 1,843 | △ 1,878 | △ 1,704 | △ 2,125 | △ 1,879 | △ 1,911 |
| (B) 有価証券売買損益 | 370,437,165 | △ 68,143,754 | 255,294,428 | 86,311,418 | △ 129,852,692 | △ 91,951,547 |
| 売買益 | 372,531,100 | 3,497,916 | 259,811,783 | 87,688,235 | 1,975,375 | 2,419,929 |
| 売買損 | △ 2,093,935 | △ 71,641,670 | △ 4,517,355 | △ 1,376,817 | △ 131,828,067 | △ 94,371,476 |
| (C) 信託報酬等 | △ 4,718,881 | △ 4,666,288 | △ 4,360,589 | △ 4,546,287 | △ 4,438,021 | △ 4,368,646 |
| (D) 当期損益金（A+B+C） | 389,501,413 | △ 49,970,520 | 271,861,348 | 102,182,985 | △ 114,172,289 | △ 76,921,646 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 2,767,541,366 | △ 2,286,254,509 | △ 2,151,130,738 | △ 1,860,049,671 | △ 1,735,909,199 | △ 1,796,459,908 |
| (F) 追加信託差損益金 | △ 566,024,882 | △ 554,165,136 | △ 510,572,918 | △ 504,015,081 | △ 515,041,294 | △ 498,792,376 |
| (配当等相当額) | (143,508,548) | (139,671,121) | (128,375,995) | (126,567,510) | (128,379,588) | (124,159,635) |
| (売買損益相当額) | (△ 709,533,430) | (△ 693,836,257) | (△ 638,948,913) | (△ 630,582,591) | (△ 643,420,882) | (△ 622,952,011) |
| (G) 合計（D+E+F） | △ 2,944,064,835 | △ 2,890,390,165 | △ 2,389,842,308 | △ 2,261,881,767 | △ 2,365,122,782 | △ 2,372,173,930 |
| (H) 収益分配金 | △ 22,530,612 | △ 21,573,837 | △ 19,719,804 | △ 19,347,493 | △ 19,082,846 | △ 18,370,910 |
| 次期繰越損益金（G+H） | △ 2,966,595,447 | △ 2,911,964,002 | △ 2,409,562,112 | △ 2,281,229,260 | △ 2,384,205,628 | △ 2,390,544,840 |
| 追加信託差損益金 | △ 566,024,882 | △ 554,165,136 | △ 510,572,918 | △ 504,015,081 | △ 515,041,294 | △ 498,792,376 |
| (配当等相当額) | (143,508,548) | (139,671,121) | (128,375,995) | (126,567,510) | (128,379,588) | (124,159,635) |
| (売買損益相当額) | (△ 709,533,430) | (△ 693,836,257) | (△ 638,948,913) | (△ 630,582,591) | (△ 643,420,882) | (△ 622,952,011) |
| 分配準備積立金 | 437,635,018 | 413,394,064 | 378,035,998 | 370,484,863 | 358,471,811 | 341,187,398 |
| 繰越損益金 | △ 2,838,205,583 | △ 2,771,192,930 | △ 2,277,025,192 | △ 2,147,699,042 | △ 2,227,636,145 | △ 2,232,939,862 |

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は11ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

| 項 目 | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
|-----------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 23,498,570円 | 18,173,223円 | 20,596,966円 | 19,548,135円 | 15,680,388円 | 15,029,886円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (c) 収益調整金 | 143,508,548 | 139,671,121 | 128,375,995 | 126,567,510 | 128,379,588 | 124,159,635 |
| (d) 分配準備積立金 | 436,667,060 | 416,794,678 | 377,158,836 | 370,284,221 | 361,874,269 | 344,528,422 |
| (e) 当期分配対象額 (a+b+c+d) | 603,674,178 | 574,639,022 | 526,131,797 | 516,399,866 | 505,934,245 | 483,717,943 |
| (f) 分配金 | 22,530,612 | 21,573,837 | 19,719,804 | 19,347,493 | 19,082,846 | 18,370,910 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e-f) | 581,143,566 | 553,065,185 | 506,411,993 | 497,052,373 | 486,851,399 | 465,347,033 |
| (h) 受益権総口数 | 7,510,204,265口 | 7,191,279,139口 | 6,573,268,281口 | 6,449,164,405口 | 6,360,948,863口 | 6,123,636,936口 |

| 収 益 分 配 金 の お 知 ら せ | | | | | | |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|
| 1 万口当り分配金(税込み) | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
| | | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 |

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

日本円コース

最近30期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | アレリアンMLP指数 (米ドルベース) | | 公社債 組入比率 | 投資信託 受益証券 組入比率 | 純資産 総額 |
|-------------------|-------|------------|-----------|------------------------|-----------|-------------|----------------------|-----------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | 期中 騰落率 | (参考指数) | 期中 騰落率 | | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 17期末(2016年5月20日) | 6,213 | 30 | 6.1 | 6,771 | 5.8 | 0.1 | 98.8 | 2,596 |
| 18期末(2016年6月20日) | 6,260 | 30 | 1.2 | 6,918 | 2.2 | 0.0 | 98.7 | 2,444 |
| 19期末(2016年7月20日) | 6,464 | 30 | 3.7 | 7,241 | 4.7 | 0.0 | 99.2 | 2,460 |
| 20期末(2016年8月22日) | 6,493 | 30 | 0.9 | 7,229 | △ 0.2 | 0.0 | 98.9 | 2,433 |
| 21期末(2016年9月20日) | 6,216 | 30 | △ 3.8 | 6,959 | △ 3.7 | 0.0 | 97.7 | 1,889 |
| 22期末(2016年10月20日) | 6,448 | 30 | 4.2 | 7,227 | 3.9 | 0.0 | 98.8 | 1,894 |
| 23期末(2016年11月21日) | 6,338 | 30 | △ 1.2 | 7,055 | △ 2.4 | 0.1 | 98.7 | 1,715 |
| 24期末(2016年12月20日) | 6,360 | 30 | 0.8 | 7,137 | 1.2 | 0.0 | 98.0 | 1,750 |
| 25期末(2017年1月20日) | 6,583 | 30 | 4.0 | 7,450 | 4.4 | 0.0 | 98.9 | 1,920 |
| 26期末(2017年2月20日) | 6,851 | 30 | 4.5 | 7,922 | 6.3 | 0.0 | 98.8 | 2,134 |
| 27期末(2017年3月21日) | 6,533 | 30 | △ 4.2 | 7,540 | △ 4.8 | 0.0 | 98.9 | 2,400 |
| 28期末(2017年4月20日) | 6,512 | 30 | 0.1 | 7,556 | 0.2 | 0.1 | 97.8 | 2,418 |
| 29期末(2017年5月22日) | 6,401 | 30 | △ 1.2 | 7,469 | △ 1.2 | 0.0 | 98.4 | 2,374 |
| 30期末(2017年6月20日) | 5,849 | 30 | △ 8.2 | 6,906 | △ 7.5 | 0.0 | 98.9 | 2,126 |
| 31期末(2017年7月20日) | 6,150 | 30 | 5.7 | 7,326 | 6.1 | 0.0 | 98.3 | 2,121 |
| 32期末(2017年8月21日) | 5,582 | 30 | △ 8.7 | 6,629 | △ 9.5 | — | 98.3 | 1,874 |
| 33期末(2017年9月20日) | 5,766 | 30 | 3.8 | 6,929 | 4.5 | — | 98.8 | 1,843 |
| 34期末(2017年10月20日) | 5,624 | 30 | △ 1.9 | 6,766 | △ 2.4 | — | 98.5 | 1,705 |
| 35期末(2017年11月20日) | 5,413 | 30 | △ 3.2 | 6,524 | △ 3.6 | — | 98.6 | 1,527 |
| 36期末(2017年12月20日) | 5,606 | 30 | 4.1 | 6,824 | 4.6 | — | 99.0 | 1,512 |
| 37期末(2018年1月22日) | 5,939 | 30 | 6.5 | 7,425 | 8.8 | — | 99.2 | 1,553 |
| 38期末(2018年2月20日) | 5,557 | 30 | △ 5.9 | 6,905 | △ 7.0 | — | 99.4 | 1,407 |
| 39期末(2018年3月20日) | 5,079 | 30 | △ 8.1 | 6,241 | △ 9.6 | — | 99.4 | 1,277 |
| 40期末(2018年4月20日) | 5,271 | 30 | 4.4 | 6,577 | 5.4 | — | 98.9 | 1,248 |
| 41期末(2018年5月21日) | 5,551 | 30 | 5.9 | 6,979 | 6.1 | — | 99.5 | 1,282 |
| 42期末(2018年6月20日) | 5,489 | 30 | △ 0.6 | 6,897 | △ 1.2 | — | 99.3 | 1,176 |
| 43期末(2018年7月20日) | 5,671 | 30 | 3.9 | 7,147 | 3.6 | — | 99.1 | 1,193 |
| 44期末(2018年8月20日) | 5,897 | 30 | 4.5 | 7,639 | 6.9 | — | 99.1 | 1,107 |
| 45期末(2018年9月20日) | 5,596 | 30 | △ 4.6 | 7,390 | △ 3.3 | — | 96.4 | 981 |
| 46期末(2018年10月22日) | 5,433 | 30 | △ 2.4 | 7,206 | △ 2.5 | — | 99.5 | 901 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) アレリアンMLP指数(米ドルベース)は、Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。Alerian MLP Total Return Index(米ドルベース)はGKD Index Partners LLC d/b/a Alerianが算出しており、その商標を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

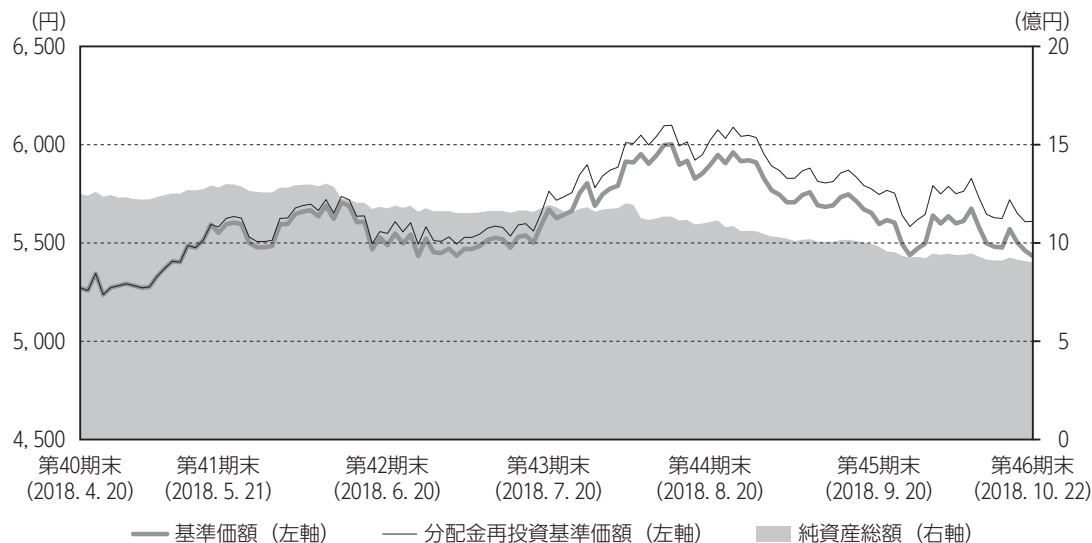
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第41期首：5,271円

第46期末：5,433円（既払分配金180円）

騰落率：6.4%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

MLP（※）のパイプラインの規制料金の決定を背景にMLPの価格が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行なわれている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

| | 年 月 日 | 基 準 価 額 | | アレリアンMLP指数 (米ドルベース) | | 公 社 債 組入比率 | 投資信託 受益証券 組入比率 |
|------|-----------------|---------|-------|------------------------|-------|---------------|----------------------|
| | | 円 | 騰 落 率 | (参考指数) | 騰 落 率 | | |
| 第41期 | (期首)2018年4月20日 | 5,271 | — | 6,577 | — | — | 98.9 |
| | 4月末 | 5,283 | 0.2 | 6,600 | 0.3 | — | 99.4 |
| | (期末)2018年5月21日 | 5,581 | 5.9 | 6,979 | 6.1 | — | 99.5 |
| 第42期 | (期首)2018年5月21日 | 5,551 | — | 6,979 | — | — | 99.5 |
| | 5月末 | 5,595 | 0.8 | 6,968 | △ 0.2 | — | 99.5 |
| | (期末)2018年6月20日 | 5,519 | △ 0.6 | 6,897 | △ 1.2 | — | 99.3 |
| 第43期 | (期首)2018年6月20日 | 5,489 | — | 6,897 | — | — | 99.3 |
| | 6月末 | 5,449 | △ 0.7 | 6,809 | △ 1.3 | — | 99.2 |
| | (期末)2018年7月20日 | 5,701 | 3.9 | 7,147 | 3.6 | — | 99.1 |
| 第44期 | (期首)2018年7月20日 | 5,671 | — | 7,147 | — | — | 99.1 |
| | 7月末 | 5,748 | 1.4 | 7,264 | 1.6 | — | 99.3 |
| | (期末)2018年8月20日 | 5,927 | 4.5 | 7,639 | 6.9 | — | 99.1 |
| 第45期 | (期首)2018年8月20日 | 5,897 | — | 7,639 | — | — | 99.1 |
| | 8月末 | 5,746 | △ 2.6 | 7,464 | △ 2.3 | — | 99.5 |
| | (期末)2018年9月20日 | 5,626 | △ 4.6 | 7,390 | △ 3.3 | — | 96.4 |
| 第46期 | (期首)2018年9月20日 | 5,596 | — | 7,390 | — | — | 96.4 |
| | 9月末 | 5,472 | △ 2.2 | 7,252 | △ 1.9 | — | 98.3 |
| | (期末)2018年10月22日 | 5,463 | △ 2.4 | 7,206 | △ 2.5 | — | 99.5 |

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 4. 21 ~ 2018. 10. 22)

■MLP市況

MLP市場は、州間パイプラインにおける規制料金の詳細が決定したことを背景に、上昇しました。

MLP市場は、当作成期首から2018年5月にかけて、好調な米国株式市場やエネルギー株式への関心の高まりから、堅調に推移しました。6月に一時調整が入ったものの、FERC（米国連邦エネルギー規制委員会）による州間パイプラインにおける規制料金についての決定が当初の想定よりMLPへの影響が軽微であったことや、MLP個別銘柄の決算内容が良好であったことなどを背景として市場心理が改善し、7月中旬以降は大きく上昇しました。しかし10月に入ってから、米国株式市場の下落の影響をMLP市場も受けたほか、11月に行なわれるコロラド州のエネルギー産業に関する規制についての住民投票の行方が懸念され、同州に資産を保有するMLPの価格変動が大きくなりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「CBREクラリオン・トラストーダイワ/クラリオン・アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」（以下、「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発、原油や天然ガスを低コストで生産できる優良地域における施設開発、スポンサー（親会社）の成長計画に連動した原油・精製品パイプラインの開発や資産取得の投資機会を有する川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、資本構成の簡素化を図っている銘柄にも注目しま

す。

為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2018. 4. 21 ~ 2018. 10. 22)

■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、エネルギー商品価格変動の影響を比較的受けにくいパイプラインや貯蔵施設などの川中MLPを中心に構成しました。川中MLPにおいては、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積・処理、輸送、貯蔵）に幅広く分散投資を行ないました。

前作成期同様に、IDR（インセンティブ配当権）を廃止した銘柄や、資産売却による配当性向の改善が見込める銘柄、ファンダメンタルズの見通しが明るい銘柄を中心に購入しました。一方で、今後の成長戦略に課題のある銘柄を中心に売却しました。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行ないました。

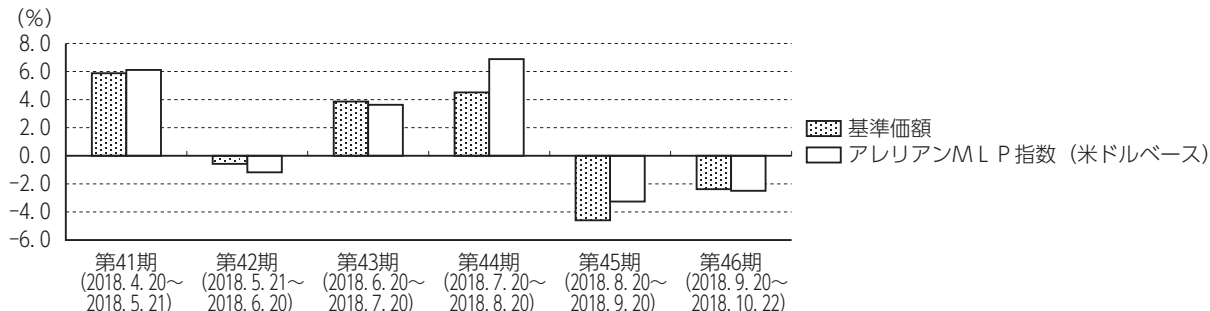
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、参考指数と比較して「パイプライン、貯蔵、処理」、「原油・精製品パイプライン、貯蔵」の組入比率が低く、「集積、処理」の組入比率が高いという特徴があります。参考指数はMLP市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

| 項 目 | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
|-----------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| | 2018年4月21日 ～2018年5月21日 | 2018年5月22日 ～2018年6月20日 | 2018年6月21日 ～2018年7月20日 | 2018年7月21日 ～2018年8月20日 | 2018年8月21日 ～2018年9月20日 | 2018年9月21日 ～2018年10月22日 |
| 当期分配金(税込み) (円) | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 |
| 対基準価額比率 (%) | 0.54 | 0.54 | 0.53 | 0.51 | 0.53 | 0.55 |
| 当期の収益 (円) | 30 | 26 | 30 | 30 | 25 | 25 |
| 当期の収益以外 (円) | — | 3 | — | — | 4 | 4 |
| 翌期繰越分配対象額 (円) | 795 | 792 | 793 | 794 | 790 | 786 |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

| 項目 | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | ✓ 31.54円 | ✓ 26.20円 | ✓ 31.25円 | ✓ 31.30円 | ✓ 25.70円 | ✓ 25.74円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売却等損益 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| (c) 収益調整金 | 353.50 | 355.88 | 356.92 | 357.94 | 358.88 | 359.90 |
| (d) 分配準備積立金 | 440.81 | ✓ 439.98 | 435.15 | 435.38 | ✓ 435.75 | ✓ 430.43 |
| (e) 当期分配対象額 (a+b+c+d) | 825.86 | 822.07 | 823.32 | 824.63 | 820.33 | 816.07 |
| (f) 分配金 | 30.00 | 30.00 | 30.00 | 30.00 | 30.00 | 30.00 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e-f) | 795.86 | 792.07 | 793.32 | 794.63 | 790.33 | 786.07 |

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）」の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（円ヘッジクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当時は、最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発機会や、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発機会、激しい競争の影響が少なく成長が見込まれる川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー（親会社）、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、株価にプラスの影響があると期待されることから、資本構造の簡素化を図っているMLPにも注目しています。資本構造の簡素化を図るMLPの中には、MLPから株式会社の形態に変更するものもあり、エネルギー川中事業セクターにおける株式会社の数は増加傾向にあります。ファンドにおいては、このような株式会社にも投資してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いません。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

1万口当りの費用の明細

| 項 目 | 第41期～第46期 (2018. 4. 21～2018. 10. 22) | | 項 目 の 概 要 |
|---------------|---|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| 信 託 報 酬 | 36円 | 0.642% | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,603円です。 |
| (投 信 会 社) | (12) | (0.218) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (23) | (0.410) | 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 銀 行) | (1) | (0.013) | 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 売 買 委 託 手 数 料 | — | — | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| 有 価 証 券 取 引 税 | — | — | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| そ の 他 費 用 | 0 | 0.003 | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合 計 | 36 | 0.645 | |

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年4月21日から2018年10月22日まで)

| 決算期 | 第 41 期 ~ 第 46 期 | | | |
|-------------|-----------------|--------|-------------|---------|
| | 買 付 | | 売 付 | |
| | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 金 額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| 外国 (邦貨建) | 772.14277 | 38,673 | 8,559.92339 | 437,000 |

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年4月21日から2018年10月22日まで)

| 買 付 銘 柄 | 第 41 期 ~ | | | 第 46 期 | | | 平均単価 円 |
|------------|----------|-----|------|--|-------------|---------|-----------|
| | □ 数 | 金 額 | 平均単価 | 銘 柄 | □ 数 | 金 額 | |
| | 千口 | 千円 | 円 | | 千口 | 千円 | |
| | | | | AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島) | 8,559.92339 | 437,000 | 51 |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

| ファンド名 | 第 46 期 末 | | |
|---|--------------|---------|------|
| | □ 数 | 評価額 | 比 率 |
| 外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND JPY HEDGED CLASS | 18,318.32255 | 896,681 | 99.5 |

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

| 種 類 | 第40期末 | 第 46 期 末 | |
|-----------------|-------|----------|-------|
| | □ 数 | □ 数 | 評 価 額 |
| ダイワ・マネー・マザーファンド | 144 | 144 | 147 |

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年10月22日現在

| 項 目 | 第 46 期 末 | |
|-----------------|----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 投資信託受益証券 | 896,681 | 98.6 |
| ダイワ・マネー・マザーファンド | 147 | 0.0 |
| コール・ローン等、その他 | 12,579 | 1.4 |
| 投資信託財産総額 | 909,408 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 日本円コース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年5月21日)、(2018年6月20日)、(2018年7月20日)、(2018年8月20日)、(2018年9月20日)、(2018年10月22日)現在

| 項目 | 第41期末 | 第42期末 | 第43期末 | 第44期末 | 第45期末 | 第46期末 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| (A) 資産 | 1,293,426,133円 | 1,189,782,808円 | 1,206,510,770円 | 1,124,620,518円 | 1,004,352,921円 | 911,408,412円 |
| コール・ローン等 | 17,543,724 | 15,547,922 | 13,308,731 | 19,573,487 | 12,067,699 | 10,579,323 |
| 投資信託受益証券（評価額） | 1,275,735,165 | 1,168,087,643 | 1,183,054,809 | 1,096,899,817 | 946,138,021 | 896,681,889 |
| ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額） | 147,244 | 147,244 | 147,230 | 147,215 | 147,201 | 147,201 |
| 未収入金 | — | 5,999,999 | 10,000,000 | 7,999,999 | 46,000,000 | 3,999,999 |
| (B) 負債 | 10,866,023 | 13,748,912 | 12,580,337 | 17,293,303 | 22,986,760 | 9,846,758 |
| 未払金 | — | 3,000,000 | 5,000,000 | 4,000,000 | 8,000,000 | 2,000,000 |
| 未払収益分配金 | 6,931,056 | 6,428,113 | 6,315,570 | 5,633,106 | 5,260,779 | 4,978,467 |
| 未払解約金 | 2,583,707 | 2,987,698 | 24,492 | 6,382,554 | 8,572,733 | 1,783,422 |
| 未払信託報酬 | 1,342,621 | 1,316,049 | 1,215,500 | 1,245,014 | 1,113,537 | 1,038,521 |
| その他未払費用 | 8,639 | 17,052 | 24,775 | 32,629 | 39,711 | 46,348 |
| (C) 純資産総額（A－B） | 1,282,560,110 | 1,176,033,896 | 1,193,930,433 | 1,107,327,215 | 981,366,161 | 901,561,654 |
| 元本 | 2,310,352,318 | 2,142,704,621 | 2,105,190,109 | 1,877,702,023 | 1,753,593,307 | 1,659,489,029 |
| 次期繰越損益金 | △ 1,027,792,208 | △ 966,670,725 | △ 911,259,676 | △ 770,374,808 | △ 772,227,146 | △ 757,927,375 |
| (D) 受益権総口数 | 2,310,352,318口 | 2,142,704,621口 | 2,105,190,109口 | 1,877,702,023口 | 1,753,593,307口 | 1,659,489,029口 |
| 1万口当り基準価額（C/D） | 5,551円 | 5,489円 | 5,671円 | 5,897円 | 5,596円 | 5,433円 |

* 第40期末における元本額は2,369,157,328円、当作成期間（第41期～第46期）中における追加設定元本額は35,937,364円、同解約元本額は745,605,663円です。

* 第46期末の計算口数当りの純資産額は5,433円です。

* 第46期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は757,927,375円です。

■損益の状況

第41期 自 2018年4月21日 至 2018年5月21日 第43期 自 2018年6月21日 至 2018年7月20日 第45期 自 2018年8月21日 至 2018年9月20日

第42期 自 2018年5月22日 至 2018年6月20日 第44期 自 2018年7月21日 至 2018年8月20日 第46期 自 2018年9月21日 至 2018年10月22日

| 項目 | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
|-------------------------|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| (A) 配当等収益 | 7,425,606円 | 6,939,348円 | 6,758,730円 | 6,032,310円 | 5,627,438円 | 5,316,737円 |
| 受取配当金 | 7,426,260 | 6,939,988 | 6,759,100 | 6,033,008 | 5,628,077 | 5,317,320 |
| 受取利息 | 3 | — | 1 | 27 | 7 | 3 |
| 支払利息 | △ 657 | △ 640 | △ 371 | △ 725 | △ 646 | △ 586 |
| (B) 有価証券売買損益 | 65,659,990 | △ 12,646,716 | 39,266,638 | 43,265,603 | △ 52,017,336 | △ 26,432,806 |
| 売買益 | 65,790,080 | 825,097 | 39,436,827 | 47,076,992 | 1,213,854 | 418,034 |
| 売買損 | △ 130,090 | △ 13,471,813 | △ 170,189 | △ 3,811,389 | △ 53,231,190 | △ 26,850,840 |
| (C) 信託報酬等 | △ 1,351,304 | △ 1,324,630 | △ 1,223,455 | △ 1,253,095 | △ 1,120,645 | △ 1,045,162 |
| (D) 当期損益金（A+B+C） | 71,734,292 | △ 7,031,998 | 44,801,913 | 48,044,818 | △ 47,510,543 | △ 22,161,231 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 683,710,454 | △ 570,914,202 | △ 572,771,327 | △ 475,439,915 | △ 403,533,651 | △ 430,799,535 |
| (F) 追加信託差損益金 | △ 408,884,990 | △ 382,296,412 | △ 376,974,692 | △ 337,346,605 | △ 315,922,173 | △ 299,988,142 |
| (配当等相当額) | (81,671,877) | (76,255,167) | (75,139,540) | (67,210,555) | (62,933,379) | (59,725,150) |
| (売買損益相当額) | (△ 490,556,867) | (△ 458,551,579) | (△ 452,114,232) | (△ 404,557,160) | (△ 378,855,552) | (△ 359,713,292) |
| (G) 合計（D+E+F） | △ 1,020,861,152 | △ 960,242,612 | △ 904,944,106 | △ 764,741,702 | △ 766,966,367 | △ 752,948,908 |
| (H) 収益分配金 | △ 6,931,056 | △ 6,428,113 | △ 6,315,570 | △ 5,633,106 | △ 5,260,779 | △ 4,978,467 |
| 次期繰越損益金（G+H） | △ 1,027,792,208 | △ 966,670,725 | △ 911,259,676 | △ 770,374,808 | △ 772,227,146 | △ 757,927,375 |
| 追加信託差損益金 | △ 408,884,990 | △ 382,296,412 | △ 376,974,692 | △ 337,346,605 | △ 315,922,173 | △ 299,988,142 |
| (配当等相当額) | (81,671,877) | (76,255,167) | (75,139,540) | (67,210,555) | (62,933,379) | (59,725,150) |
| (売買損益相当額) | (△ 490,556,867) | (△ 458,551,579) | (△ 452,114,232) | (△ 404,557,160) | (△ 378,855,552) | (△ 359,713,292) |
| 分配準備積立金 | 102,201,707 | 93,463,099 | 91,870,902 | 81,998,247 | 75,659,165 | 70,723,254 |
| 繰越損益金 | △ 721,108,925 | △ 677,837,412 | △ 626,155,886 | △ 515,026,450 | △ 531,964,138 | △ 528,662,487 |

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は22ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

| 項 目 | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
|-----------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 7,288,311円 | 5,614,714円 | 6,579,123円 | 5,878,926円 | 4,506,788円 | 4,271,571円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (c) 収益調整金 | 81,671,877 | 76,255,167 | 75,139,540 | 67,210,555 | 62,933,379 | 59,725,150 |
| (d) 分配準備積立金 | 101,844,452 | 94,276,498 | 91,607,349 | 81,752,427 | 76,413,156 | 71,430,150 |
| (e) 当期分配対象額 (a+b+c+d) | 190,804,640 | 176,146,379 | 173,326,012 | 154,841,908 | 143,853,323 | 135,426,871 |
| (f) 分配金 | 6,931,056 | 6,428,113 | 6,315,570 | 5,633,106 | 5,260,779 | 4,978,467 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e-f) | 183,873,584 | 169,718,266 | 167,010,442 | 149,208,802 | 138,592,544 | 130,448,404 |
| (h) 受益権総口数 | 2,310,352,318口 | 2,142,704,621口 | 2,105,190,109口 | 1,877,702,023口 | 1,753,593,307口 | 1,659,489,029口 |

| 収 益 分 配 金 の お 知 ら せ | | | | | | |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|
| 1 万口当り分配金(税込み) | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
| | | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 | 30円 |

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨αコース

最近30期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 公社債 組入比率 | 投資信託 受益証券 組入比率 | 純資産 総額 |
|-------------------|-------|------------|----------|-------------|----------------------|-----------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | 期騰 落率 | | | |
| | 円 | 円 | % | % | % | 百万円 |
| 17期末(2016年5月20日) | 5,748 | 70 | 6.9 | 0.1 | 97.8 | 9,189 |
| 18期末(2016年6月20日) | 5,511 | 70 | △ 2.9 | 0.0 | 98.8 | 8,474 |
| 19期末(2016年7月20日) | 5,716 | 70 | 5.0 | 0.0 | 99.0 | 8,528 |
| 20期末(2016年8月22日) | 5,477 | 70 | △ 3.0 | 0.0 | 99.1 | 7,929 |
| 21期末(2016年9月20日) | 5,312 | 70 | △ 1.7 | 0.0 | 98.7 | 7,493 |
| 22期末(2016年10月20日) | 5,543 | 70 | 5.7 | 0.0 | 98.9 | 7,327 |
| 23期末(2016年11月21日) | 5,627 | 70 | 2.8 | 0.1 | 98.5 | 6,986 |
| 24期末(2016年12月20日) | 5,794 | 70 | 4.2 | 0.0 | 98.5 | 7,168 |
| 25期末(2017年1月20日) | 5,921 | 70 | 3.4 | 0.0 | 98.7 | 7,419 |
| 26期末(2017年2月20日) | 6,042 | 70 | 3.2 | 0.0 | 99.1 | 7,484 |
| 27期末(2017年3月21日) | 5,742 | 70 | △ 3.8 | 0.0 | 98.9 | 6,984 |
| 28期末(2017年4月20日) | 5,538 | 70 | △ 2.3 | 0.1 | 98.3 | 6,307 |
| 29期末(2017年5月22日) | 5,504 | 70 | 0.7 | 0.0 | 99.0 | 6,038 |
| 30期末(2017年6月20日) | 4,982 | 70 | △ 8.2 | 0.0 | 99.1 | 5,333 |
| 31期末(2017年7月20日) | 5,212 | 70 | 6.0 | 0.0 | 99.0 | 5,466 |
| 32期末(2017年8月21日) | 4,589 | 70 | △ 10.6 | — | 98.9 | 4,835 |
| 33期末(2017年9月20日) | 4,793 | 70 | 6.0 | — | 98.6 | 4,888 |
| 34期末(2017年10月20日) | 4,673 | 70 | △ 1.0 | — | 98.6 | 4,523 |
| 35期末(2017年11月20日) | 4,456 | 70 | △ 3.1 | — | 98.5 | 4,159 |
| 36期末(2017年12月20日) | 4,608 | 70 | 5.0 | — | 97.6 | 4,164 |
| 37期末(2018年1月22日) | 4,769 | 70 | 5.0 | — | 99.5 | 4,029 |
| 38期末(2018年2月20日) | 4,266 | 70 | △ 9.1 | — | 99.5 | 3,588 |
| 39期末(2018年3月20日) | 3,864 | 70 | △ 7.8 | — | 98.9 | 3,151 |
| 40期末(2018年4月20日) | 4,021 | 70 | 5.9 | — | 99.5 | 3,227 |
| 41期末(2018年5月21日) | 4,276 | 70 | 8.1 | — | 99.5 | 3,336 |
| 42期末(2018年6月20日) | 4,173 | 70 | △ 0.8 | — | 99.5 | 3,107 |
| 43期末(2018年7月20日) | 4,349 | 70 | 5.9 | — | 99.4 | 3,320 |
| 44期末(2018年8月20日) | 4,420 | 70 | 3.2 | — | 99.4 | 3,398 |
| 45期末(2018年9月20日) | 4,214 | 70 | △ 3.1 | — | 99.4 | 3,159 |
| 46期末(2018年10月22日) | 4,053 | 70 | △ 2.2 | — | 98.4 | 3,027 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

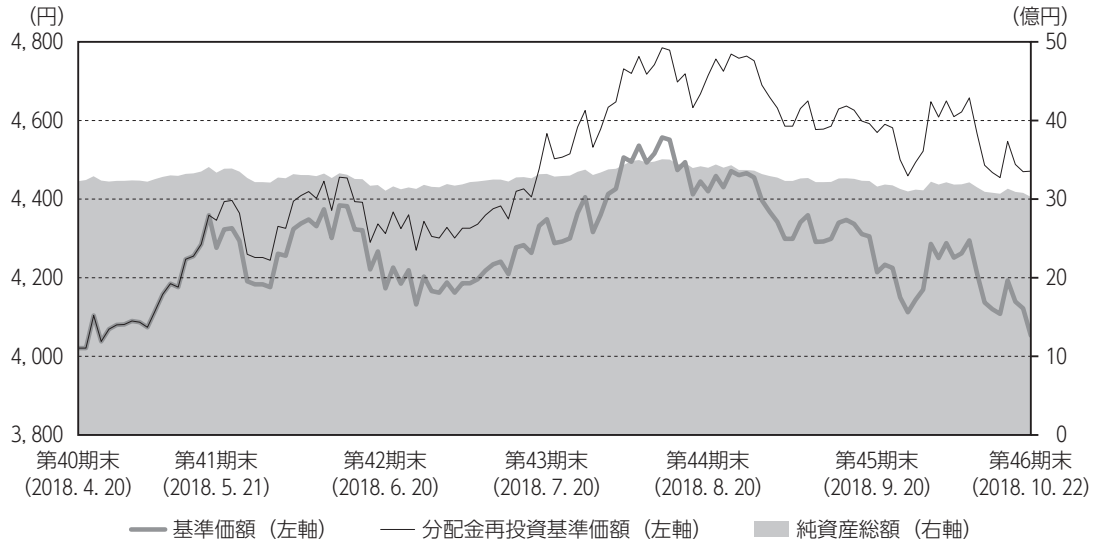
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第41期首：4,021円

第46期末：4,053円（既払分配金420円）

騰落率：11.2%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

MLP（※）のパイプラインの規制料金の決定を背景にMLPの価格が上昇したことや、オプションのプレミアム収入（円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）の売却）、米ドル円が上昇傾向にあったことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※MLPは、米国で行なわれている共同投資事業形態のひとつであり、その出資持分が米国の金融商品取引所等で取引されています。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 通貨αコース

| | 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 公 社 債 組入比率 | 投資信託 受益証券 組入比率 |
|------|-----------------|---------|------------|---------------|----------------------|
| | | 円 | 騰 落 率 % | | |
| 第41期 | (期首)2018年4月20日 | 4,021 | — | — | 99.5 |
| | 4月末 | 4,080 | 1.5 | — | 99.5 |
| | (期末)2018年5月21日 | 4,346 | 8.1 | — | 99.5 |
| 第42期 | (期首)2018年5月21日 | 4,276 | — | — | 99.5 |
| | 5月末 | 4,261 | △ 0.4 | — | 99.4 |
| | (期末)2018年6月20日 | 4,243 | △ 0.8 | — | 99.5 |
| 第43期 | (期首)2018年6月20日 | 4,173 | — | — | 99.5 |
| | 6月末 | 4,162 | △ 0.3 | — | 99.5 |
| | (期末)2018年7月20日 | 4,419 | 5.9 | — | 99.4 |
| 第44期 | (期首)2018年7月20日 | 4,349 | — | — | 99.4 |
| | 7月末 | 4,360 | 0.3 | — | 99.3 |
| | (期末)2018年8月20日 | 4,490 | 3.2 | — | 99.4 |
| 第45期 | (期首)2018年8月20日 | 4,420 | — | — | 99.4 |
| | 8月末 | 4,342 | △ 1.8 | — | 99.1 |
| | (期末)2018年9月20日 | 4,284 | △ 3.1 | — | 99.4 |
| 第46期 | (期首)2018年9月20日 | 4,214 | — | — | 99.4 |
| | 9月末 | 4,144 | △ 1.7 | — | 98.6 |
| | (期末)2018年10月22日 | 4,123 | △ 2.2 | — | 98.4 |

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 4. 21 ~ 2018. 10. 22)

■MLP市況

MLP市場は、州間パイプラインにおける規制料金の詳細が決定したことを背景に、上昇しました。

MLP市場は、当作成期首から2018年5月にかけて、好調な米国株式市場やエネルギー株式への関心の高まりから、堅調に推移しました。6月に一時調整が入ったものの、FERC（米国連邦エネルギー規制委員会）による州間パイプラインにおける規制料金についての決定が当初の想定よりMLPへの影響が軽微であったことや、MLP個別銘柄の決算内容が良好であったことなどを背景として市場心理が改善し、7月中旬以降は大きく上昇しました。しかし10月に入ってから、米国株式市場の下落の影響をMLP市場も受けたほか、11月に行なわれるコロラド州のエネルギー産業に関する規制についての住民投票の行方が懸念され、同州に資産を保有するMLPの価格変動が大きくなりました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル為替相場は、当作成期首から、米中貿易摩擦動向に左右されつつも、米国株式市場が堅調に推移したことや米国の継続的な利上げを受けて、米ドルは対円で上昇傾向で推移しました。しかし2018年10月に入ると、市場のリスク回避姿勢が強まる中で米ドルは対円で下落傾向となり、米ドルの上昇幅がやや縮小する形で当作成期末を迎えました。

■通貨オプション相場

当作成期の通貨オプションのボラティリティはおおむね横ばいとなりました。

イタリアの政治情勢への懸念やトルコ情勢への警戒感の高まりからボラティリティが上昇する場面もみられましたが、米ドル円が緩やかに上昇を続けたことなどがボラティリティの低下要因となり、当作成期を通してみるとボラティリティはおおむね横ばいにとどまりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「CBREクラリオン・トラスト・ダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」（以下、「アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）」といいます。）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発、原油や天然ガスを低コストで生産できる優良地域における施設開発、スポンサー（親会社）の成長計画に連動した原油・精製品パイプラインの開発や資産取得の投資機会を有する川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、資本構成の簡素化を図っている銘柄にも注目します。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2018. 4. 21 ~ 2018. 10. 22)

■当ファンド

当ファンドは、アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期はアメリカンMLPファンド（通貨αクラス）を高位に組み入れました。

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせて、ポートフォリオを構築しました。

セクターについては、エネルギー商品価格変動の影響を比較的受けにくいパイプラインや貯蔵施設などの川中MLPを中心に構成しました。川中MLPにおいては、地域、エネルギー種別（天然ガス、原油、石油精製品、天然ガス液）、川中事業における役割（集積・処理、輸送、貯蔵）に幅広く分散投資を行ないました。

前作成期同様に、IDR（インセンティブ配当権）を廃止した銘柄や、資産売却による配当性向の改善が見込める銘柄、ファンダメンタルズの見通しが明るい銘柄を中心に購入しました。一方で、今後の成長戦略に課題のある銘柄を中心に売却しました。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざしました。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

| 項 目 | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
|-----------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| | 2018年4月21日 ～2018年5月21日 | 2018年5月22日 ～2018年6月20日 | 2018年6月21日 ～2018年7月20日 | 2018年7月21日 ～2018年8月20日 | 2018年8月21日 ～2018年9月20日 | 2018年9月21日 ～2018年10月22日 |
| 当期分配金(税込み) (円) | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 |
| 対基準価額比率 (%) | 1.61 | 1.65 | 1.58 | 1.56 | 1.63 | 1.70 |
| 当期の収益 (円) | 33 | 28 | 32 | 31 | 27 | 27 |
| 当期の収益以外 (円) | 36 | 41 | 37 | 38 | 42 | 42 |
| 翌期繰越分配対象額 (円) | 1,176 | 1,135 | 1,097 | 1,059 | 1,016 | 974 |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

| 項 目 | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | ✓ 33.23円 | ✓ 28.79円 | ✓ 32.16円 | ✓ 31.23円 | ✓ 27.47円 | ✓ 27.35円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| (c) 収益調整金 | 366.02 | 369.78 | 400.97 | 417.69 | 424.27 | 434.34 |
| (d) 分配準備積立金 | ✓ 847.59 | ✓ 807.06 | ✓ 734.69 | ✓ 680.15 | ✓ 634.96 | ✓ 582.37 |
| (e) 当期分配対象額 (a+b+c+d) | 1,246.84 | 1,205.65 | 1,167.83 | 1,129.09 | 1,086.71 | 1,044.07 |
| (f) 分配金 | 70.00 | 70.00 | 70.00 | 70.00 | 70.00 | 70.00 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e-f) | 1,176.84 | 1,135.65 | 1,097.83 | 1,059.09 | 1,016.71 | 974.07 |

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■アメリカンMLPファンド（通貨αクラス）

当ファンドでは、マクロ経済、エネルギー需要、地域別、業種別の動向を分析するトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当の安定性や成長性、経営陣の質、バリュエーションなどに焦点を当て分析するボトムアップ・アプローチを組み合わせ、ポートフォリオを構築します。当面は、最終需要に裏打ちされた収益透明性の高い需要主導（デマンド・プル）型関連施設開発機会や、低コストで原油や天然ガスを生産する優良生産地域における生産活動の増加に関連した施設開発機会、激しい競争の影響が少なく成長が見込まれる川中MLPに注目していきます。ポートフォリオは、生産性の高い地域における施設、優れた経営陣やスポンサー（親会社）、潤沢な配当原資や負債比率の比較的低い良好な財務体質を持つ銘柄、平均を上回るキャッシュフロー成長率を示している銘柄に焦点を当てます。また、株価にプラスの影響があると期待されることから、資本構造の簡素化を図っているMLPにも注目しています。資本構造の簡素化を図るMLPの中には、MLPから株式会社の形態に変更するものもあり、エネルギー川中事業セクターにおける株式会社の数は増加傾向にあります。ファンドにおいては、このような株式会社にも投資してまいります。

円に対する米ドルのコール・オプション（買う権利）を売却することで、オプションのプレミアム収入の確保をめざします。また、オプションのカバー率は、保有する米ドル建資産の評価額の50%程度を維持する方針です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

| 項 目 | 第41期～第46期 (2018. 4. 21～2018. 10. 22) | | 項 目 の 概 要 |
|---------------|---|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| 信 託 報 酬 | 27円 | 0.641% | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,272円です。 |
| (投 信 会 社) | (9) | (0.218) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (18) | (0.410) | 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 銀 行) | (1) | (0.013) | 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 売 買 委 託 手 数 料 | 1 | 0.023 | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (投資信託受益証券) | (1) | (0.023) | |
| 有 価 証 券 取 引 税 | — | — | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| そ の 他 費 用 | 0 | 0.003 | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合 計 | 28 | 0.667 | |

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年4月21日から2018年10月22日まで)

| 決算期 | 第 41 期 ~ 第 46 期 | | | |
|-------------|-----------------|---------|--------------|---------|
| | 買 付 | | 売 付 | |
| | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 金 額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| 外国 (邦貨建) | 8,487,00079 | 317,353 | 20,790,42363 | 775,224 |

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年4月21日から2018年10月22日まで)

| 第 41 期 ~ | | | | 第 46 期 | | | |
|---|-------------|---------|------|---|--------------|---------|------|
| 買 付 | | 売 付 | | 買 付 | | 売 付 | |
| 銘 柄 | □ 数 | 金 額 | 平均単価 | 銘 柄 | □ 数 | 金 額 | 平均単価 |
| | 千口 | 千円 | 円 | | 千口 | 千円 | 円 |
| AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島) | 4,459.37375 | 167,000 | 37 | AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島) | 20,790.42363 | 775,224 | 37 |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

| ファンド名 | 第 46 期 末 | | |
|--|-------------|-----------|------|
| | □ 数 | 評価額 | 比 率 |
| | 千口 | 千円 | % |
| 外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AMERICAN MLP FUND CURRENCY ALPHA CLASS | 80,940.5655 | 2,980,717 | 98.4 |

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

| 種 類 | 第40期末 | 第 46 期 末 | |
|-----------------|-------|----------|-------|
| | □ 数 | □ 数 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| ダイワ・マネー・マザーファンド | 677 | 677 | 690 |

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年10月22日現在

| 項 目 | 第 46 期 末 | |
|-----------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 投資信託受益証券 | 2,980,717 | 96.7 |
| ダイワ・マネー・マザーファンド | 690 | 0.0 |
| コール・ローン等、その他 | 102,522 | 3.3 |
| 投資信託財産総額 | 3,083,929 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型） 通貨αコース

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年5月21日)、(2018年6月20日)、(2018年7月20日)、(2018年8月20日)、(2018年9月20日)、(2018年10月22日)現在

| 項目 | 第41期末 | 第42期末 | 第43期末 | 第44期末 | 第45期末 | 第46期末 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| (A) 資産 | 3,410,284,896円 | 3,225,375,549円 | 3,400,478,379円 | 3,463,491,879円 | 3,224,622,078円 | 3,115,897,522円 |
| コール・ローン等 | 72,783,277 | 80,393,627 | 72,244,689 | 74,829,915 | 76,130,837 | 70,554,071 |
| 投資信託受益証券（評価額） | 3,320,827,229 | 3,090,345,533 | 3,301,569,369 | 3,379,979,710 | 3,140,808,056 | 2,980,717,265 |
| ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額） | 690,390 | 690,390 | 690,322 | 690,254 | 690,186 | 690,186 |
| 未収入金 | 15,984,000 | 53,945,999 | 25,973,999 | 7,992,000 | 6,992,999 | 63,936,000 |
| (B) 負債 | 73,546,445 | 118,356,340 | 79,786,483 | 64,666,993 | 65,263,234 | 87,994,395 |
| 未払金 | 7,992,000 | 26,973,000 | 12,987,000 | 3,996,000 | 1,998,000 | 31,968,000 |
| 未払収益分配金 | 54,618,213 | 52,119,763 | 53,448,979 | 53,825,021 | 52,483,910 | 52,290,357 |
| 未払解約金 | 7,386,484 | 35,796,026 | 9,944,409 | 3,088,147 | 7,121,707 | 105,169 |
| 未払信託報酬 | 3,527,053 | 3,422,886 | 3,340,117 | 3,668,711 | 3,547,922 | 3,496,801 |
| その他未払費用 | 22,695 | 44,665 | 65,978 | 89,114 | 111,695 | 134,068 |
| (C) 純資産総額（A－B） | 3,336,738,451 | 3,107,019,209 | 3,320,691,896 | 3,398,824,886 | 3,159,358,844 | 3,027,903,127 |
| 元本 | 7,802,601,972 | 7,445,680,441 | 7,635,568,478 | 7,689,288,733 | 7,497,701,470 | 7,470,051,090 |
| 次期繰越損益金 | △ 4,465,863,521 | △ 4,338,661,232 | △ 4,314,876,582 | △ 4,290,463,847 | △ 4,338,342,626 | △ 4,442,147,963 |
| (D) 受益権総口数 | 7,802,601,972口 | 7,445,680,441口 | 7,635,568,478口 | 7,689,288,733口 | 7,497,701,470口 | 7,470,051,090口 |
| 1万口当り基準価額（C/D） | 4,276円 | 4,173円 | 4,349円 | 4,420円 | 4,214円 | 4,053円 |

*第40期末における元本額は8,027,072,421円、当作成期間（第41期～第46期）中における追加設定元本額は784,338,680円、同解約元本額は1,341,360,011円です。

*第46期末の計算口数当りの純資産額は4,053円です。

*第46期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,442,147,963円です。

■損益の状況

第41期 自2018年4月21日 至2018年5月21日 第43期 自2018年6月21日 至2018年7月20日 第45期 自2018年8月21日 至2018年9月20日
 第42期 自2018年5月22日 至2018年6月20日 第44期 自2018年7月21日 至2018年8月20日 第46期 自2018年9月21日 至2018年10月22日

| 項目 | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
|-------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| (A) 配当等収益 | 26,294,118円 | 24,888,400円 | 24,997,261円 | 24,852,583円 | 24,172,001円 | 23,953,656円 |
| 受取配当金 | 26,295,797 | 24,889,807 | 24,998,735 | 24,854,614 | 24,173,965 | 23,955,455 |
| 受取利息 | 11 | 13 | 2 | 10 | 13 | 20 |
| 支払利息 | △ 1,690 | △ 1,420 | △ 1,476 | △ 2,041 | △ 1,977 | △ 1,819 |
| (B) 有価証券売買損益 | 230,883,440 | △ 46,412,745 | 165,533,488 | 85,350,271 | △ 122,418,863 | △ 87,732,478 |
| 売買益 | 232,648,318 | 2,680,020 | 166,036,272 | 86,463,283 | 1,455,566 | 765,398 |
| 売買損 | △ 1,764,878 | △ 49,092,765 | △ 502,784 | △ 1,113,012 | △ 123,874,429 | △ 88,497,876 |
| (C) 信託報酬等 | △ 3,549,926 | △ 3,445,296 | △ 3,362,334 | △ 3,692,615 | △ 3,570,614 | △ 3,519,209 |
| (D) 当期損益金（A+B+C） | 253,627,632 | △ 24,969,641 | 187,168,415 | 106,510,239 | △ 101,817,476 | △ 67,298,031 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 3,737,339,570 | △ 3,360,827,633 | △ 3,382,109,749 | △ 3,192,821,035 | △ 3,031,208,939 | △ 3,119,856,233 |
| (F) 追加信託差損益金 | △ 927,533,370 | △ 900,744,195 | △ 1,066,486,269 | △ 1,150,328,030 | △ 1,152,832,301 | △ 1,202,703,342 |
| （配当等相当額） | (285,593,431) | (275,328,619) | (306,166,491) | (321,181,429) | (318,110,145) | (324,456,302) |
| （売買損益相当額） | (△ 1,213,126,801) | (△ 1,176,072,814) | (△ 1,372,652,760) | (△ 1,471,509,459) | (△ 1,470,942,446) | (△ 1,527,159,644) |
| (G) 合計（D+E+F） | △ 4,411,245,308 | △ 4,286,541,469 | △ 4,261,427,603 | △ 4,236,638,826 | △ 4,285,858,716 | △ 4,389,857,606 |
| (H) 収益分配金 | △ 54,618,213 | △ 52,119,763 | △ 53,448,979 | △ 53,825,021 | △ 52,483,910 | △ 52,290,357 |
| 次期繰越損益金（G+H） | △ 4,465,863,521 | △ 4,338,661,232 | △ 4,314,876,582 | △ 4,290,463,847 | △ 4,338,342,626 | △ 4,442,147,963 |
| 追加信託差損益金 | △ 927,533,370 | △ 900,744,195 | △ 1,066,486,269 | △ 1,150,328,030 | △ 1,152,832,301 | △ 1,202,703,342 |
| （配当等相当額） | (285,593,431) | (275,328,619) | (306,166,491) | (321,181,429) | (318,110,145) | (324,456,302) |
| （売買損益相当額） | (△ 1,213,126,801) | (△ 1,176,072,814) | (△ 1,372,652,760) | (△ 1,471,509,459) | (△ 1,470,942,446) | (△ 1,527,159,644) |
| 分配準備積立金 | 632,655,049 | 570,240,826 | 532,091,289 | 493,183,796 | 444,193,385 | 403,182,506 |
| 繰越損益金 | △ 4,170,985,200 | △ 4,008,157,863 | △ 3,780,481,602 | △ 3,633,319,613 | △ 3,629,703,710 | △ 3,642,627,127 |

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は34ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

| 項 目 | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
|-----------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 25,931,283円 | 21,443,072円 | 24,556,093円 | 24,019,860円 | 20,601,347円 | 20,434,406円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (c) 収益調整金 | 285,593,431 | 275,328,619 | 306,166,491 | 321,181,429 | 318,110,145 | 324,456,302 |
| (d) 分配準備積立金 | 661,341,979 | 600,917,517 | 560,984,175 | 522,988,957 | 476,075,948 | 435,038,457 |
| (e) 当期分配対象額 (a+b+c+d) | 972,866,693 | 897,689,208 | 891,706,759 | 868,190,246 | 814,787,440 | 779,929,165 |
| (f) 分配金 | 54,618,213 | 52,119,763 | 53,448,979 | 53,825,021 | 52,483,910 | 52,290,357 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e-f) | 918,248,480 | 845,569,445 | 838,257,780 | 814,365,225 | 762,303,530 | 727,638,808 |
| (h) 受益権総口数 | 7,802,601,972口 | 7,445,680,441口 | 7,635,568,478口 | 7,689,288,733口 | 7,497,701,470口 | 7,470,051,090口 |

| 収 益 分 配 金 の お 知 ら せ | | | | | | |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|
| 1 万口当り分配金(税込み) | 第41期 | 第42期 | 第43期 | 第44期 | 第45期 | 第46期 |
| | 70円 | 70円 | 70円 | 70円 | 70円 | 70円 |

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド
ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨αコース）はケイマン籍の外国投資信託「CBREクラリオン・トラストーダイワ／クラリオン・アメリカンMLPファンド ノンヘッジクラス／円ヘッジクラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除き全てのクラスを合算しております。

（注）2018年10月22日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
2018年3月31日現在

| | | |
|----------------------------------|----|-------------------|
| 資産 | | |
| 投資資産の評価額（簿価 \$78,662,149） | \$ | 73,192,861 |
| 現金 | | 1,021 |
| 未収法人税等 | | 6,043,386 |
| その他資産 | | 13,862 |
| 資産合計 | | <u>79,251,130</u> |
| 負債 | | |
| 売建てオプションの評価額（受取済プレミアム \$170,921） | | 112,350 |
| 外国為替先渡契約による評価損 | | 132,273 |
| スポット契約による評価損 | | 18 |
| 未払： | | |
| 解約済み受益証券 | | 84,626 |
| 専門家報酬 | | 58,000 |
| 法人税 | | 186,479 |
| 運用会社報酬 | | 32,263 |
| 会計および管理会社報酬 | | 20,082 |
| 保管会社報酬 | | 12,058 |
| 為替運用会社報酬 | | 2,606 |
| 名義書換代理人報酬 | | 960 |
| 計算代理人報酬 | | 1,024 |
| 負債合計 | | <u>642,739</u> |
| 純資産 | \$ | <u>78,608,391</u> |
| 純資産の内訳： | | |
| 払込資本金 | \$ | 308,186,610 |
| （受益者への分配金） | | (97,268,763) |
| 繰越損失 | | (132,309,456) |
| 純資産 | \$ | <u>78,608,391</u> |
| クラス別純資産： | | |
| 通貨αクラス | \$ | 28,979,347 |
| 円ヘッジクラス | | 11,474,639 |
| ノンヘッジクラス | | 38,154,405 |
| | \$ | <u>78,608,391</u> |

発行済み受益証券口数

| | |
|----------|------------|
| 通貨αクラス | 94,799,062 |
| 円ヘッジクラス | 27,151,832 |
| ノンヘッジクラス | 85,350,547 |

受益証券1口当り純資産額

| | | |
|----------|----|-------|
| 通貨αクラス | \$ | 0.306 |
| 円ヘッジクラス | \$ | 0.423 |
| ノンヘッジクラス | \$ | 0.447 |

損益計算書

2018年3月31日に終了した年度

投資収益

| | | |
|--|----|--------------------------|
| 配当収益 (源泉徴収税 \$24,865控除後) | \$ | 250,560 |
| マスター・リミテッド・パートナーシップからの分配金 (元本払戻金 (特別分配金)) | | 6,674,488 (6,674,488) |
| 受取利息 | | 95,099 |
| 投資収益合計 | | <u>345,659</u> |

費用

| | | |
|-------------|--|----------------|
| 運用会社報酬 | | 568,674 |
| 専門家報酬 | | 194,000 |
| 会計および管理会社報酬 | | 91,422 |
| 保管会社報酬 | | 51,293 |
| 為替運用会社報酬 | | 42,914 |
| 受託会社報酬 | | 13,742 |
| 名義書換代理人報酬 | | 12,625 |
| 登録料 | | 9,755 |
| 計算代理人報酬 | | 4,912 |
| 州法人税 | | 1,567 |
| 費用合計 | | <u>990,904</u> |

税引前投資純損失

(645,245)

当期法人税控除額

(186,479)

税引後投資純損失

(831,724)

実現益 (損) および評価益 (損) :

実現益 (損) :

| | |
|-------------------|--------------------|
| 証券投資 | (2,994,180) |
| 外国為替取引および外国為替先渡契約 | 208,964 |
| 売建オプション | 448,198 |
| 純実現損 | <u>(2,337,018)</u> |

評価益 (損) の純変動 :

| | |
|---------------------|---------------------|
| 証券投資 | (18,302,542) |
| 外国為替換算および外国為替先渡契約 | 122,599 |
| 売建オプション | (131,651) |
| 評価益 (損) の純変動 | <u>(18,311,594)</u> |

純実現損および純評価損

(20,648,612)

運用による純資産の純減

\$ (21,480,336)

ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型)

投資明細表
2018年3月31日現在

| 出資口数 | 有価証券の明細 | 評価額 |
|---------------|--|----------------------|
| | 普通株 (5.9%) | |
| | 集積・処理 (2.0%) | |
| 35,962 | Targa Resources Corp. | \$ 1,582,328 |
| | | <hr/> 1,582,328 |
| | ジェネラル・パートナー (3.9%) | |
| 87,178 | Antero Midstream GP LP | 1,393,976 |
| 30,800 | Cheniere Energy, Inc. | 1,646,260 |
| | | <hr/> 3,040,236 |
| | 普通株合計 (簿価 \$5,264,828) | \$ 4,622,564 |
| | マスター・リミテッド・パートナーシップ (85.5%) | |
| | 集積・処理 (24.2%) | |
| 89,983 | Antero Midstream Partners LP | 2,329,660 |
| 117,500 | Crestwood Equity Partners LP | 3,008,000 |
| 167,200 | Enable Midstream Partners LP | 2,293,984 |
| 91,987 | Hess Midstream Partners LP | 1,751,432 |
| 121,625 | MPLX LP | 4,018,490 |
| 53,300 | Noble Midstream Partners LP | 2,485,379 |
| 60,000 | Summit Midstream Partners LP | 843,000 |
| 53,556 | Western Gas Partners LP | 2,285,235 |
| | | <hr/> 19,015,180 |
| | ジェネラル・パートナー (1.4%) | |
| 33,600 | Western Gas Equity Partners LP | 1,112,832 |
| | | <hr/> 1,112,832 |
| | 天然ガスパイプライン・貯蔵 (12.0%) | |
| 273,050 | Boardwalk Pipeline Partners LP | 2,771,458 |
| 80,000 | Cheniere Energy Partners LP | 2,328,000 |
| 75,700 | Dominion Energy Midstream Partners LP | 1,161,995 |
| 57,400 | Spectra Energy Partners LP | 1,930,936 |
| 32,916 | Tallgrass Energy Partners LP | 1,247,187 |
| | | <hr/> 9,439,576 |
| | 原油・精製品のパイプライン・貯蔵 (25.9%) | |
| 126,626 | Andeavor Logistics LP | 5,674,111 |
| 93,390 | Magellan Midstream Partners LP | 5,449,307 |
| 18,595 | Phillips 66 Partners LP | 888,469 |
| 168,600 | Plains All American Pipeline LP | 3,714,258 |
| 107,900 | Shell Midstream Partners LP | 2,271,295 |
| 67,414 | Valero Energy Partners LP | 2,388,478 |
| | | <hr/> 20,385,918 |
| | パイプライン・貯蔵・処理 (22.0%) | |
| 318,727 | Energy Transfer Partners LP | 5,169,752 |
| 210,303 | Enterprise Products Partners LP | 5,148,217 |
| 202,298 | Williams Partners LP | 6,965,120 |
| | | <hr/> 17,283,089 |
| | マスター・リミテッド・パートナーシップ合計 (簿価 \$72,063,619) | \$ 67,236,595 |
| | 元本 | |
| | 短期投資 (1.7%) | |
| | 定期預金 (1.7%) | |
| USD 1,333,702 | Citibank, New York 1.05%, due 2018/4/2 | 1,333,702 |
| | 短期投資合計 (簿価 \$1,333,702) | \$ 1,333,702 |
| | 投資総額 (簿価 \$78,662,149) (93.1%) | \$ 73,192,861 |
| | 負債を超過する現金およびその他の資産 (6.9%) | 5,415,530 |
| | 純資産 (100.0%) | \$ 78,608,391 |

2018年3月31日現在の円ヘッジクラスの外国為替先渡契約残高

| 買い | 取引相手 | 契約金額 | 決済日 | 売り | 契約金額 | 評価益 | 評価（損） | 評価益/（損） |
|-------|-------------------------|------------------|-----------|-------|--------------|------|---------------|---------------|
| J P Y | Brown Brothers Harriman | 1, 218, 908, 114 | 2018/4/27 | U S D | 11, 611, 004 | \$ - | \$ (132, 273) | \$ (132, 273) |

2018年3月31日現在の通貨αクラスの売建オプション取引内容

| 取引内容 | 取引相手 | 行使価格 | 行使期日 | 想定元本 | 受取済 プレミアム | 評価額 |
|--|----------------------------------|----------|-----------|-------------|---------------|---------------|
| Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar | Morgan Stanley Japan Ltd., Tokyo | ¥ 107.20 | 2018/4/6 | 4, 000, 000 | \$ (51, 238) | \$ (4, 338) |
| Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar | Citibank N. A. Tokyo | 106.60 | 2018/4/13 | 4, 000, 000 | (47, 245) | (18, 976) |
| Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar | Morgan Stanley Japan Ltd., Tokyo | 106.26 | 2018/4/20 | 4, 000, 000 | (40, 085) | (30, 089) |
| Call - OTC Japanese Yen versus US Dollar | Citibank N. A. Tokyo | 104.50 | 2018/4/27 | 3, 000, 000 | (32, 353) | (58, 947) |
| | | | | | \$ (170, 921) | \$ (112, 350) |

通貨の略称

| | | |
|-------|---|-----|
| J P Y | - | 日本円 |
| U S D | - | 米ドル |

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース／日本円コース／通貨αコース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第46期の決算日（2018年10月22日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を39ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

(2018年4月21日から2018年10月22日まで)

| 買 付 | | 売 付 | |
|----------------------|---------------|-----|-----|
| 銘 柄 | 金 額 | 銘 柄 | 金 額 |
| 757 国庫短期証券 2018/8/13 | 千円 400,002 | | 千円 |
| 731 国庫短期証券 2018/7/10 | 280,000 | | |

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2018年10月22日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（81,651,836千円）の内容です。

国内その他有価証券

| | 2018年10月22日現在 | |
|---------|---------------|------------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 国内短期社債等 | 千円 999,999 | % <1.2> |

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第13期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。 |
| 主要投資対象 | 本邦通貨表示の公社債 |
| 運用方法 | ①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位 (A-2格相当) 以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。 |
| 株式組入制限 | 純資産総額の30%以下 |

大和投資信託

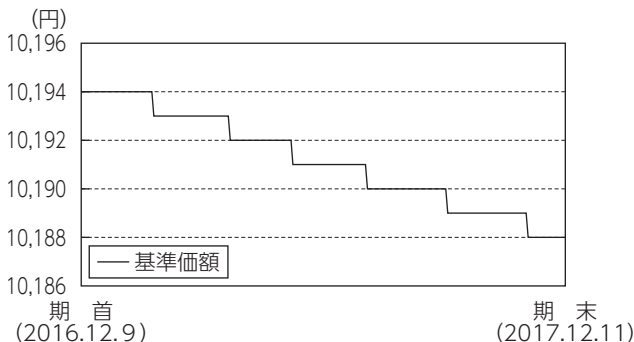
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ・マネー・マザーファンド

■当期中の基準価額の推移



| 年 月 日 | 基準 価 額 | | 公 社 債 組 入 比 率 |
|-----------------|--------|------|---------------|
| | 騰 落 率 | % | |
| (期首)2016年12月9日 | 10,194 | — | 30.1 |
| 12月末 | 10,194 | 0.0 | — |
| 2017年1月末 | 10,194 | 0.0 | 30.7 |
| 2月末 | 10,193 | △0.0 | 24.6 |
| 3月末 | 10,193 | △0.0 | — |
| 4月末 | 10,192 | △0.0 | 32.5 |
| 5月末 | 10,191 | △0.0 | 5.2 |
| 6月末 | 10,191 | △0.0 | 0.5 |
| 7月末 | 10,190 | △0.0 | 0.1 |
| 8月末 | 10,190 | △0.0 | — |
| 9月末 | 10,189 | △0.0 | — |
| 10月末 | 10,189 | △0.0 | — |
| 11月末 | 10,188 | △0.1 | — |
| (期末)2017年12月11日 | 10,188 | △0.1 | — |

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,194円 期末：10,188円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

| 項 目 | 当 期 |
|----------------|----------|
| 売買委託手数料 | —円 |
| 有価証券取引税 | — |
| その他費用 (その他) | 0 (0) |
| 合 計 | 0 |

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

| 国 内 | 買 付 額 | 売 付 額 |
|------|-------------|---------------|
| | | |
| 国債証券 | 210,925,408 | (231,500,000) |

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

| 国 内 | 買 付 額 | 売 付 額 |
|---------|-------------|--------------------|
| | | |
| 国内短期社債等 | 246,999,814 | 246,999,819 () |

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

| 買 付 | | 売 付 | |
|------------|-----------|------------|-------|
| 銘 | 柄 金 額 | 銘 | 柄 金 額 |
| | 千円 | | 千円 |
| 645 国庫短期証券 | 2017/2/20 | 27,570,641 | |
| 657 国庫短期証券 | 2017/4/17 | 17,880,344 | |
| 642 国庫短期証券 | 2017/2/6 | 17,230,250 | |
| 652 国庫短期証券 | 2017/3/27 | 16,550,132 | |
| 659 国庫短期証券 | 2017/4/24 | 16,270,410 | |
| 669 国庫短期証券 | 2017/6/12 | 15,870,490 | |
| 651 国庫短期証券 | 2017/3/21 | 13,160,344 | |
| 644 国庫短期証券 | 2017/5/12 | 11,970,533 | |
| 638 国庫短期証券 | 2017/1/16 | 9,360,075 | |
| 648 国庫短期証券 | 2017/3/6 | 7,370,272 | |

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

| | 当 期 末 | |
|---------|---------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 国内短期社債等 | 999,999 | <1.4> |

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|------------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| コール・ローン等、その他 | 69,737,046 | 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 69,737,046 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|------------------|-----------------|
| (A) 資産 | 69,737,046,159円 |
| コール・ローン等 | 68,737,047,077 |
| 現先取引(その他有価証券) | 999,999,082 |
| (B) 負債 | 60,400,000 |
| 未払解約金 | 60,400,000 |
| (C) 純資産総額(A - B) | 69,676,646,159 |
| 元本 | 68,390,547,168 |
| 次期繰越損益金 | 1,286,098,991 |
| (D) 受益権総口数 | 68,390,547,168口 |
| 1万口当り基準価額(C / D) | 10,188円 |

* 期首における元本額は66,967,614,984円、当期中における追加設定元本額は143,241,011,614円、同解約元本額は141,818,079,430円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代 - (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 98,069円、ダイワ F E グローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 98,069円、ダイワ / "R I C I" コモディティ・ファンド 8,952,508円、US 債券 NB 戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US 債券 NB 戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、NB ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NB ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NB ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ 2,898,147,134円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト 317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド - パラダイムシフター - 9,853,995円、プルベア・マネー・ポートフォリオ IV 25,987,316,146円、ブル3倍日本株ポートフォリオ IV 31,864,786,854円、ベア2倍日本株ポートフォリオ IV 7,199,848,570円、ダイワ F E グローバル・バリュー株ファンド (ダイワ S M A 専用) 4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配

型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 68,368,780円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスⅡ - 金積立型 - 501,660円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド (償還条項付き) 為替ヘッジあり 1,004,378円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジあり) 988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド - インフラ革命 - (為替ヘッジなし) 4,926,018円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 米ドルコース 285,029円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 日本円コース 144,570円、ダイワ米国 M L P ファンド (毎月分配型) 通貨αコース 13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ 1,229,944円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド (ダイワ S M A 専用) 235,407円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース 98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース 98,202円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,188円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------|-----------------|
| (A) 配当等収益 | △ 41,076,414円 |
| 受取利息 | △ 5,752,611 |
| 支払利息 | △ 35,323,803 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 9,224 |
| 売買損 | △ 9,224 |
| (C) その他費用 | △ 196,417 |
| (D) 当期損益金(A + B + C) | △ 41,282,055 |
| (E) 前期繰越損益金 | 1,302,196,055 |
| (F) 解約差損益金 | △ 2,715,466,915 |
| (G) 追加信託差損益金 | 2,740,651,906 |
| (H) 合計(D + E + F + G) | 1,286,098,991 |
| 次期繰越損益金(H) | 1,286,098,991 |

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。